

## 平成30年11月開催 福部地域振興会議議事概要

日 時 平成30年11月27日(火) 13:30～15:00  
会 場 福部町総合支所2階大会議室  
出席委員 南部敏、坪内悟、山本輝彦、小谷孝文、岸本正枝、上山弘子、北村重政、若狭さつき  
(順不同敬称略)  
出席者 鳥取市水道局課長補佐、同主幹  
事務局 支所長、副支所長兼地域振興課長、産業建設課長、市民福祉課長、地域振興課課長補佐

### ○ 議 題

#### (1) 共通議題 統合前の簡易水道給水区域の整備計画(地域水道整備計画)について

出席者：平成29年4月に簡易水道事業は上水道事業に統合し、現在、地域水道として整備を進めていますが、平成29年度に整備計画を策定しましたのでその概要を説明します。福部地域については、湯山と福部中央の施設が該当しますが、いずれも、平成30年度に着手し、平成34年度までに整備が完了する計画となっています。

委員A：上野地区への給水について、蔵見簡水の計画はどうなっているか。担保として、計画へ入れていただきたい。

出席者：上野地区の給水については承知していますが、現在、福部地域で急ぐところから優先して取り組んでいる状況で、上野地区についてはその後となります。今後の整備計画への反映については、整備計画に盛り込めるよう宿題として持ち帰らせていただきます。

委員B：整備後は、湯山と福部中央には江山浄水場から水が来るといふことか。

出席者：その通りです。これにより既存の水源が廃止となり、効率的な維持管理と水の安定供給が可能となります。

会 長：従来より悪くなることが無いように、事業を進めていただきたい。

#### (2) 任期満了による地域振興会議委員選考スケジュールについて

事務局：今年度末をもって現在の委員の皆さまの任期が満了します。これによる委員公募を1月の支所だより等で行う予定です。

#### (3) 福部町野まちづくり構想基本計画(素案)について

事務局：先月開催のまちづくりワークショップで、参加者より出された意見・提案をもとに素案を作成しました。これをもとに、来年1月にはさらに幅広い市民の皆さまから意見を募集し、2月には国府地域との合同会議で意見をいただく予定としています。

委員B：12ページのミッシングリンクについて、注釈が欲しい。

委員C：12ページのお試し住宅について、利用状況などを知りたい。

事務局：福部町のお試し住宅は多鯰ヶ池のほとりにあり、年間20件程度の利用があります。利用者は鳥取市に移住を検討されている方が対象で、最初の5日間までは1日7,500円、6日目移行は1日1,500円で最大1か月間利用できるというものです。

会 長：福部町の空き家状況についてはどうか。

事務局：福部町の空き家状況については、現在、詳しく調査しておらず不明です。ワークショップでも意見が出されており、来年度に調査を行う必要があると考えています。

委員B：13ページの塩見川下流域の保水・遊水機能の回復については、「回復」ではなく、水鳥公園や駐車場で利活用を想定した「活用」に表現を改めてみてはどうか。

会 長：塩見川下流域の耕作放棄地については、以前にも駐車場として整備する計画が持ち上がったが、地盤沈下などの懸念から中止となった経緯がある。

事務局：表現について再検討します。来年度に水鳥公園の専門家をこの会議に招致して意見を聞くなど、活用策の検討を進めたいと考えます。

委員A：塩見川下流域だけでなく、奥部の耕作放棄地についても検討してほしい。

事務局：計画のもとになる構想が、福部町中心部から浜部へ向かう内容となっており、奥部の記載が弱いのも事実です。町全体の発展という観点から、奥部についての記載を充実させる必要があると考えます。

委員D：13ページの防災機能の強化について、避難所は、地域住民だけでなく観光客にも必要な施設であることから、砂丘周辺の観光施設についても、避難所としての機能強化を進めていただきたい。

委員B：6ページの観光振興について、やたら「～となっています」という表現ばかりが目立ち、何をしたいのかわからない。

事務局：この計画は、新たなインターチェンジを作ったら、観光振興や交通渋滞の解消にどういった効果がもたらされるのか検証しようとするもので、観光振興のために何かをしようとするものではありません。まとめを総論的に書くなどして、わかりやすい表現に改めます。

委員B：8ページのボランティアロードとはどういったものか？

事務局：道路の清掃活動などに地域住民が参画し、愛着心を育むことで、快適で美しい道路環境づくりを図ることを目的とした制度です。

委員E：現実問題として、県交差点から駅前までの歩道に花を植えることは困難だと思う。それよりも、隣接の水田が既に耕作放棄に近い状態となっているので、それと併せて検討してみてもどうか。

事務局：計画の例示は、体制づくりの一例を表現しているものであり、具体的なことについては、今後、実施計画の中で検討していきたいと考えます。

委員A：10ページの福部駅について、「空き地が目立ち」という表現より「見晴らしが良く」といった表現の方が相応しくないか。

事務局：ワークショップでは、「福部駅を砂丘駅に！」といった提案が多く出されました。福部駅では、現にホームかららっきょう畑を見ることができ、「砂丘に最も近い駅」を表現するうえで、「空き地が目立ち」を「見晴らしが良く」に改めたいと思います。

委員A：最近、福部駅を利用する外国人が増えていると聞くがどうか。

事務局：目立って増えています。

委員D：らっちゃんバスを砂丘まで走らせることも検討してみてはどうか。

会 長：福部駅の利活用は、構想実現の重要な取り組みであることからぜひ進めたい。

(4) 同 意見募集の実施について

**事務局**：計画の素案がまとまりましたら、ワークショップの参加者や区長会で配布するとともに、支所窓口に関連場所を開設し、1月10日～1月末まで意見募集を行いたいと考えます。

(5) 国府・福部地域合同会議の開催について

**事務局**：来年2月上旬に国府地域振興会議と合同で会議を開催します。場所は福部町コミュニティセンターを予定しています。

(6) 支所庁舎耐震化工事に伴う執務室の移転について

**事務局**：来年1月15日（火）から7月末まで、支所執務室が現在改装中の書庫部分に移転します。住民への周知は、1月の支所だよりに記事を掲載する予定です。

以上